

平成 27 年度 事業報告書

コース	自主事業コース ・ 協働市民提案コース ・ 協働行政提案コース		
事業の名称	「ソーシャルライター」養成講座 & 情報発信事業		
実施団体名	(公益) みんなでつくる財団おかやま		
市担当課名	倉敷市市民活動推進課		
総事業費	301,659円	市の負担額	169,000円

①事業の概要 *事業の全体像を簡潔に記入してください。

■ 初級講座(2回)と基礎講座(3回)の開催
FacebookなどのSNSを活用して、社会的なことを発信するライター「ソーシャルライター」を育成する講座を開催し、市民ライターの育成を行いました。

■ Share会議など発表機会の提供
12月と1月のShare会議(NPO法人等が活動を発表する場)に、ソーシャルライター候補を案内し、団体の活動を発信することで市民参画を促しました。
こうした状況を当法人のFB等で発信し、ソーシャルライターの取り組みのように自分の好きなことで社会参画できるというモデルの提示を行いました。

②事業の成果
*「平成27年度事業申込書の⑥事業の成果」がどのくらい達成されたかを記入してください。また、実施した事業の詳細は「⑤事業実施記録」に記入してください。

■社会参画のモデルを提示する
今回の事業では、ソーシャルライターという気軽に社会参加するモデルを提示することを目的に実施した。ライター講座への参加人数は当初想定した人数より少なかったが、受講生の文章をFBで発信した結果、トータル約3600のいいね(発信3日後の確認)が付き多くの人に活動を見ていただくことができた。
その結果として、来年度以降同様の講座があれば参加したいという問い合わせを10名以上の方からいただき、また東京から視察を受けることになり、一定のモデル提示を行うことができました。

*事業の成果を自己評価すると何点になりますか。計画通りであれば100点とします。
なお、想定を大きく上回る成果を得ている場合は100点を超える点数を記入してください。

70	点
----	---

③事業の課題 *事業を実施する中で浮上してきた課題を記入してください。

・ 講座の集客(特に基礎講座)が難しかった。倉敷の街中で開催の場合は、他の行事との兼ね合いを考慮するべきだった。(駐車場の問題などで当日キャンセルする人も数名いた)
(※今回は、高校生、大学生は無料にて受け入れることで集客を工夫した。)

→ 初級講座の開催は、他の情報発信系のセミナーの中で広報を行うなどの工夫が必要
→ さらに短いバージョンの講座を他のイベント内で実施するなどかわる機会を増やす必要がある

④事業実施記録 *実施した事業の詳細を記入してください。

実施日時	実施内容	実施場所	従事者の人数	受益対象者の 範囲及び人数
平成 27 年 7 月 9 日	ソーシャルライター2015 入門編 開催 (岡山会場) ソーシャルライターの入門講座 座学と簡単な実習	内山下小学校	3 名	参加者：11 名 情報発信：4 名 いいね 314
平成 27 年 8 月 8 日	ソーシャルライター2015 入門編 開催 (倉敷会場) ソーシャルライターの入門講座 座学と簡単な実習	倉敷物語館	2 名	参加者：9 名 情報発信：5 名 いいね 420
平成 27 年 8 月 22 日～ 25 日	倉敷まちづくりびと (アリオ) パネル展で事業紹介とともに基礎 講座の案内を行った	アリオ	5 名	
平成 27 年 9 月 19 日	ソーシャルライター2015 基礎講座 【第 1 回】書き方講座 入門編よりさらにレベルアップした講座。 自分の発信したいことを題材に書き方を 学んだうえで、ライティング実習をし、講 師より添削をしていただきました。 後半では、「ペアレント・サポートすてっ ぷ」の取り組みを発表してもらい、取材し て文章を作成した。	倉敷物語館	2 名	参加者：4 名 情報発信：2 名 いいね 105
平成 27 年 10 月 10 日	ソーシャルライター2015 基礎講座 【第 2 回】取材の講座 取材の仕方、取材メモからテーマを生かす ための文章作成方法を中心に受講した後、 実際に 2 つの事例でライティングを実施。 みんつくの取り組みを最初に取材し実習。 その後「TEC・ECO 再生機構」の活動を 発表してもらい、取材を行った。	倉敷市市民活動推 進センター	2 名	参加者：9 名 情報発信：6 名 いいね 580

平成 27 年 10 月 24 日	ソーシャルライター2015 基礎講座 【第 3 回】発信の講座 3 回シリーズのまとめ講座、今までの内容を振り返り座学を行い、今回も「寄付月間」をテーマに取材とライティングを実践。 相互評価を行い、お互いの文章を読むことでもライティング力を高めた	倉敷市市民活動推進センター	2 名	参加者：6 名 情報発信：3 名 いいね 380
平成 27 年 12 月 10 日	(参考) ソーシャルライターの取り組みの取材 SW の取り組みをみた団体（東京の NPO 支援組織）から SW についての取材があった。取り組みの概要や今後の展開を紹介	当法人事務所	2 名	2 名（訪問者）
平成 27 年 12 月 19 日	みんなつく Share 会議 「川崎医療福祉大学子ども支援サークルにっこにこ」と「NPO 法人岡山ニャンとかし隊」の 2 団体が取り組む活動内容や、課題等を発表していただいた後、参加者を交えて意見交換やアイディア出しを行いました。	西川アゴラ	4 名	参加者：21 名 情報発信:12 名 いいね 1075
平成 28 年 1 月 19 日	みんなつく Share 会議 「子どもの居場所づくりトワイライトホーム事業」について発表 団体の寄付募集をテーマに FB で発信を促しました。	倉敷物語館	2 名	参加者：19 名 情報発信：8 名 いいね 840

※いいねのカウントは事業実施（発信後）3 日後の集計値

収支精算書

(収入の部)

(単位：円)

項 目	予算額	収入済額	主な収入の内訳
受益者負担 (参加費, 受講料など)	75,000	15,000	基礎講座参加費 5,000 円×3 名
会費からの繰入金	40,000	117,659	
そ の 他			
市補助金	225,000	169,000	
合 計	340,000	301,659	

(支出の部)

(単位：円)

区 分	項 目	予算額	支出済額	主な支出の内訳
経費① (対象経費)	人件費(団体会員に支払うもの, 交通費を含む)	13,000	17,000	(別紙参照)
	人件費(団体外部に支払うアルバイト代等)		8,280	2,760 円×3 日
	謝 金 (講師等に支払うもの)	140,000	120,000	20,000 円×5 回 (吉備人出版) 10,000 円×1 回 (ペアレントサポートすてっぷ) 10,000 円×1 回 (TEC.ECO)
	旅費交通費 (講師等に支払うもの)	5,000	6,360	ボラ 5,360 円 講師 1,000 円
	消耗品費	20,000	4,617	コピー用紙等
	印刷製本費	30,000	21,600	チラシ印刷
	通信運搬費	19,000	0	
	保険料			
	使用料, 賃借料	23,000	10,422	施設利用料 (別紙内訳)
	委託料			
	小計	250,000	188,279	
経費② (対象外経費)	報償費・人件費	90,000	113,380	研修: コーディネーター1 万円×5 回 Share 会議: コーディネーター2 万円×2 回 対象外分人件費 23,380
	食糧費			
	その他			
	小計	90,000	113,380	
合 計		340,000	301,659	

(記入上の注意) ※ 予算額は申込み時に提出した様式第 3 号の内容を記入してください。